

Jonai Press

2019年度 後期号 令和2年2月10日 発行

One for all All for one

ONE TEAM

礎となるのは

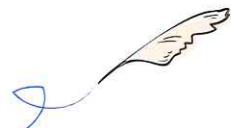
「自主自律の精神」



Contents

- P.1 表紙写真 9月29日 城中祭運動部門
- P.2 学校便り
- P.3 ヒューポイド特集
- P.4-5 運動部門 Photo Gallery
- P.6 PTAのページ
- P.7 Jonai Our Shining Star 松下烈さん
- P.8 ステージ部門 Photo Gallery

学校便り



ラグビー講座

2nd grade 6月20日



ワールドカップが日本で行われた昨年は、列島全体がラグビーで盛り上がりましたが、6月20日木曜日、城内中でもヤマハ発動機ジュビロ所属の栗田・西村両選手をお迎えし、ラグビー講座が行われました。幸運な2年生が参加しました。体育館は大盛り上がり。本物のラグビー選手の大きさ、強さを肌で感じることのできた貴重な経験となりました。



城内中グループ校小中一貫教育発表

11月21日

11月21日木曜日、約3年間の準備と実践を続けてきた城内中グループにおける静岡型小中一貫教育研究開発指定の研究発表会がありました。来賓や市内小中学校の職員、保護者など約240名が集まり、授業が公開され、全体会と分科会が行われました。

公開授業

学校	学級	教科	単元名	
葵小	5年1組	外国語	We can! 1 Unit 6「I want to go to Italy.」～マレーシアの友達に静岡市の良さを伝えよう～	a
伝馬町小	6年1組	外国語	We can! 2 Unit 7「My Best Memory」～小学校6年間の思い出を伝えよう～	b
葵小 伝馬町小	6年3組 6年2組	学級活動	仲間づくり～仲間の輪を広げよう～	c d
城内中	2年1組	英語	静岡の魅力を伝えるスキットを作ろう	e
城内中	3年生	総合的な学習の時間	自分たちが暮らしている「静岡市」に私が貢献できることって何だろう？	f g



静岡市立小中学校音楽学習交流会

1st grade 11月27日

11月27日水曜日、1年生が静岡市立小中学校音楽学習交流会に参加しました。城内中学校校歌と、児童合唱のための組曲「火のくにのうた」～「阿蘇」を披露しました。練習の成果を充分に発揮し、素晴らしい歌声がホールに響きました。今年の1年生は合唱に力を入れています。3月29日グランシップで行われる「静岡県郷土唱歌を歌おう」にも参加する予定です。



JONAI-HUGH BOYD Exchange Program in 2019

5月3日から8日間、2年・3年の代表生徒21名と、職員3名が、カナダ・リッチモンド市のヒューボイド校を訪問しました。この交流は昭和48年(1973)から始まり、今年で46年目を迎えました。交流はリッチモンドのマーレイ氏の依頼を受け、静岡市が城内中学校を紹介したことから始まりました。



ヒューボイド校は正式にはHugh Boyd Secondary Schoolといい、8年生から12年生までが通っています。日本でいうと中2から高3までの年齢の生徒が通う中高一貫校のような学校です。

ざっくり



ヒューボイド交流はこんなスケジュール!

Day 1
Fri. May 3 空港でホストファミリーと対面



バンクーバーオリンピックの聖火台

Day 2
Sat. May 4
» 01 English Bay
» 02 Stanley Park/Inukshuk
» 03 Olympic Torch
» 04 Gastown
» 05 Granville Island



Day 3
Sun. May 5 Host family Day



ホストファミリーとの
持ち寄り(Potluck)
ディナー



みんなで
作ったピザ

Day 4
Mon. May 6 歓迎集会
プレゼント交換
Socialsの授業

Day 5
Tue. May 7 Artの活動
Safeway/dykeへ散策
家庭科の活動



Day 6
Wed. May 8 アルティメット
ホストファミリーとの
Potluckディナー



僕の場合…スコミニッシュのゴンドラに連れて行ってもらったよ!



ヒューボイドからの
プレゼントは「アルティメット」とカナダの写真集



みんなの作品

2020
From Canada
to Shizuoka



心配なのは、まず食事!
朝食・夕食はどんなものを出しましたか?

朝 食 :パンorシリアルor白米orパンケーキ
お か ず :卵料理・ウィンナー・ベーコン・サラダ・野菜スープor味噌汁
デ ザ ット :果物・ヨーグルト

夕 食 :しゃぶしゃぶ、餃子、ハヤシライス、寿司、カレー、うどん、刺身、コロッケ、
アヒフライ、照り焼きチキン、唐揚げ、BBQ etc

特別な食事は必要なく、日本の家庭料理が喜ばれました。



カナダでの朝食は
こんな感じ…
ホストファミリー宅
で食べたカナダの
朝食

ファミリーデーはどんな過ごし方をしましたか?

- ・日本平動物園
- ・駿府匠宿で染物や箸作り体験
- ・ホビースクエアetc

事前にメールで希望を確認し、
本人と相談して決め方そうです。

宿泊場所が確保できるかどうか
心配です。

個室やベッドを用意できなくて、
子ども部屋や和室に布団を敷いて、
子どもと寝てもらつたご家庭もあり
ました。

2019
From Shizuoka
to Canada



limit ~ 皆

第73回 城中祭運動部門

令和元年9月29日(日)

於:城内中学校グラウンド



でこえる限界～

バザーのこと。

令和元年台風19号の直撃により「城中楽市」が前代未聞の中止。そこからのPTA本部の動きはまさに電光石火!迅速な食券の全額払い戻し作業、まさかのミニバザー開催決定。新しいことをやるのは、とにかく大変。私たちの知らない苦悩や葛藤を乗り越え、短期間での怒濤の調整と準備を経て、たくさんの有志のバザー委員と、多数の生徒や保護者、先生方が参加してくれて新しい渦となった「ミニバザー」。

今年度バザー実行委員長の池田美穂さんにお話を伺いました。

“人間万事塞翁が馬”のミニバザー

PTAバザー実行委員長 池田 美穂

まずは、バザー係を含め大勢の保護者、教職員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。イレギュラーとはなりましたが、ミニバザーとして開催できしたこと、大変ありがとうございます。

バザー係の皆さんを中心に、6月より着々と準備を進めてきたPTAバザー『城中楽市』でしたが、開催予定日数日前に「え?このタイミングで?」と、『台風19号』の静岡直撃情報!! 台風の規模・進路から、どうにもならないだろうと、やむなく中止の判断を。(この判断については、大規模台風のおかげ?で、後ろ髪をひかれず、サクッとできました。)ただ、すでに仕入れのやり取りが済んでいる物や、各家庭からの厚意で集めた物品は?特支や、美術部の生徒さんが準備してきた販売品はどうしようか?...と、すっきりしない点もあり、中止だけ中止ではなく何とかならないか、起死回生ねらいの『ミニバザー』開催について学校に相談すると、学校の返事は、開催するなら11月9日の公開授業はどうか?保護者も来校するからいいのでは?生徒も現金を持ってきて良しとし、販売品を購入することを自由選択としてみては?(ただし、食事する場合は学校内で)という、画期的で素敵な提案!

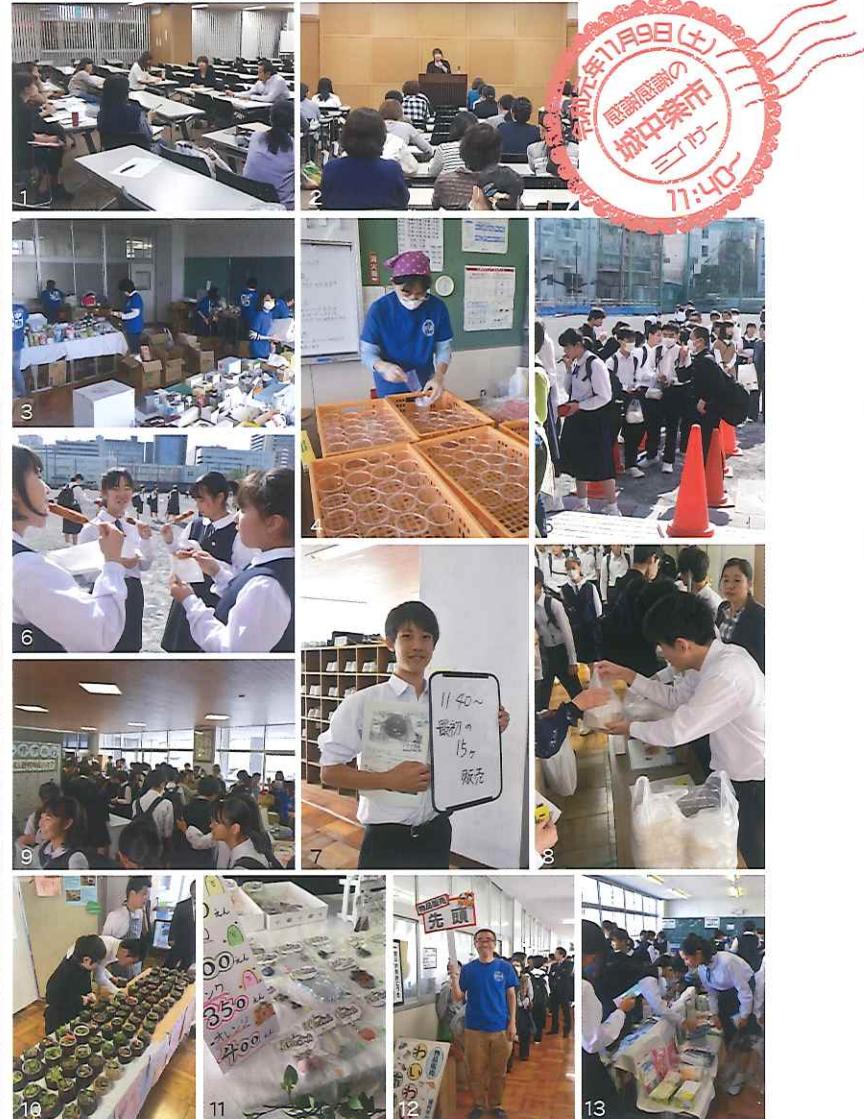
ミニバザーについては、最初から企画していたことではなかったため、急きよ4回目のバザー委員会を開催し、バザー係の方に声を掛け、ミニバザーの手伝いを依頼しました。

まさか、こんな展開になるとは誰も考えなかつたと思います。そんな中でも当日都合を付けて参加してくださる方もいて、大変ありがたく、多くの方に支えられている実感が湧きましたが、「実施でてきて良かった良かった。」で終わるのでなく、今までの活動データが無い分、段取りを含め、今回実施した内容について、本部として冷静に振り返ることも必要です。

今回、なかなかすっきりとした出口が見えずにいた自分にとって、9日のミニバザーに至るまでを振り返ると、まさに「ああ、人間万事塞翁が馬!」大変なことばかりがずっと続くわけではないのだと、実感した次第です。

また、チームで話し合いを進めるうえで、それぞれの意見・考えが全て一致するということはありません。ありませんが、折り合いをつけていくこと、柔軟な対応を考えること、趣旨は何か?も大切なことであり、今回の『台風19号』が、そういうことを改めて教えてくれたと思います。

来年度は、無事に『城中楽市』が開催されることを願って....。



1.連日遅くまで行われたPTA本部の打ち合わせ。熱い議論が交わされました。 2.急遽行われた第4回バザー実行委員会(10月23日)大勢の方が参加してくれました。 3.ミニバザー会場の準備。バザー委員さんがテキパキと設営を進めます。 4.今年度はやっぱりタピオカでしょ!家庭科室でのドリンクの仕込み。 5.いよいよバザー開始!フランクフルトに長蛇の列。 6.フランクフルト、美味しいね! 7.8.特支教科32組がマイアーカフェさんとコラボして作った、「鷹匠バーガーフサマヨ味」の特別販売!整理券を配布するほどの大人気! 9.こちらは大盛況の1階、物品販売。 10.特支のカワイイあんてるせんチビ籠&多肉植物、1個100円。 11.美術部の手作りアクセサリー250円~ 12.ミニバザー会場は入場規制あり、掘り出物たくさん。先生方も購入してくださいました。 13.例年以上に生徒が買いに来てくれました。



6月9日(日)

保健体育

PTA学年別対抗
バルーンバーレーボール大会

大勢の Parents&Teacher が楽しく汗をかきました。

来年度の参加もお待ちしております。

11月9日(土)

令和元年度城内中学校区
青少年健全育成大会



「あなたのお子さんは大丈夫?~ネット犯罪の落とし穴~」の講演と、「親子でつくる標語」の最優秀賞の表彰が行われました。



11月30日(土)

第17回静岡市PTA大会

おかげさまで『JonaiPress』が今年度の市P連広報誌コンクールにて、最優秀賞を受賞しました。県P連のコンクールでも入賞しました。

今後とも城内中の皆様に愛される広報誌を作つて参ります。よろしくお願ひ致します。

Jonai Our Shining Star!

城内中で共に学ぶ、
活躍する仲間に話を聴きました

Voice

まずは第73代生徒会長を終えられての感想をお聞かせください。

最初は生徒会長に立候補しようか迷っていましたが、いざ生徒会長に挑戦してみると周りの友達や先生方が温かくサポートしてくれました。生徒会本部は役員同士で活動する機会が多いため仲間とコミュニケーションを取り合ったり、ピンチを乗り越えたりすることで絆が深まりました。生徒会長は毎日忙しくて、ちょっぴり大変だったけれど本当に充実した日々でした。その充実した日々の裏には、いつも仲間の存在がありました。皆の支えがあったから生徒会長として最後までやってこられたと思います。スポーツや勉強のみに専念するのではなく、こういった生徒会活動にも力を注ぐことで、自分に大きな自信がつきました。生徒会長という役職が僕を大きく成長させてくれたと今改めて思います。

烈さんは城内中陸上部に在籍し、200m、400mの2種目で、昨年8月21日(水)～24日(土)にヤンマースタジアム長居で行われた、第46回全日本中学校陸上競技選手権大会及び、10月11日(金)～13日(日)に等々力陸上競技場で行われた、第50回ジュニアオリンピック陸上競技大会に参加されました。大きな大会に参加された感想、陸上に対する思いをお聞かせください。

僕が全国大会を目指し始めたのは小学5年生の時。チームの先輩たちがリレーで全国大会に出場したのがきっかけでした。その先輩たちが全国大会で走っている姿とその雰囲気に圧倒され、「いつか自分もこんな大きなスタジアムで走ってみたい」と強く思いました。その後、城内中の陸上部に入部。入部当時は同学年の男子部員がいなかったため(2年生になり、玉井君という頼もしい同期ができましたが)先輩が僕のことをいつも気にかけてくれて城内中陸上部の温かさを感じました。その先輩たちや一緒に練習してくれた仲間の存在もあって、着々と全国大会への道が開けていきました。そして2019年6月全国大会参加標準記録を突破し、念願の全国大会出場を決めました。実際に全国大会に出場してみると想像していたよりもレベルが高く、200mでも400mでも目標としていた決勝進出はかないませんでした。そこで全国の壁の厚さを実感すると同時に、高校に向けての新たな目標がきました。また、全国大会で他の県の選手とも友達にな



陸上部顧問
佐々木先生

烈君は自分の走りを常に追求し続ける生徒です。走ることは単純なようで奥深い。だからこそ、自分と向き合い、気持ちの軸をぶらさず取り組んだ結果が全国大会出場につながったと思います。これからも活躍を期待しています！



ジュニアオリンピック(等々力陸上競技場)にて
恩師、佐々木先生とのツーショット



#01 松下 烈さん

(304・陸上部・第73代生徒会長)

れました。そして以前僕が通っていた名古屋の小学校の親友と奇跡の再会を果たし、同じレースで一緒に走りました。勝ち負けだけでなく、陸上競技を通してたくさんの人の結びつきができます。そのためスポーツには人と人をつなげる力があると感じました。

全国大会を終えて、この4年半を振り返ってみると嬉しい時や楽しい時もあったけれど、それ以上にタイムが伸び悩んだり、結果がついてこなかったりと、くじけそうになった時も多くありました。しかし、どんな時も初心を忘れずに、前を向いて走り続けました。一日一日の小さな積み重ねが大きな力となり、今回のような結果につながったと信じています。僕は生徒会長として、話をする度に、過程の大切さについて呼びかけてきましたが、これは自分自身に向けての言葉でもありました。しっかりととした過程を築きあげることで、それに見合った結果がついてくる。このことを僕は陸上を通して学びました。

加えて、陸上部の顧問をしてくださっている佐々木先生やご指導を頂いているコーチそして両親、さまざまな方の支えがあったからこそ、僕は今、陸上競技にこんなにも打ちこめているのだと思います。特に、佐々木先生には周りに流されない心の強さや技術面など幅広くご指導頂きました。そのことへの感謝の気持ちをいつも忘れず精一杯陸上競技に取り組み、そのご厚意に応えたいと思っています。そして陸上競技を心から楽しむことで大好きな陸上に恩返しをしたいと思っています。

最後になりましたが全国大会、ジュニアオリンピックに出場するにあたり、校長先生をはじめ教頭先生や先生方そして城中生の皆さんには、たくさんの応援を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんの応援があったからこそ、自分の最大限の力を発揮することができました。応援ありがとうございました。

教えて!
お母さん

松下 恵美子さん

小さい頃から「運動・食事・睡眠」これらのこと意識して生活するよう声掛けをしてきました。忙しい中学生にとっては十分な睡眠時間の確保は難しいことなのかも知れませんが、部活動や生徒会の仕事が終わる頃、帰宅時間が早くなつた今では、平日は夜九時頃就寝し、朝は六時に起床しています。もうひとつ、子供たちは何か「夢かなれるもの」に巡り合ってほしいと思い、小さい頃から時間の許す限り、やりたいことに挑戦させてきました。烈にとって夢中になれるものが、小3の秋に出会った『陸上競技』でした。陸上競技を始めてからここまで、決して平坦な道のりではありませんでしたが、本当に夢中になつて取り組んでいた姿を見て、日々成長を感じています。これも佐々木先生をはじめ、今までご指導くださいました皆様のおかげであると深く感謝しております。

素晴らしい活躍をされてい
る烈さんですが、普段子育てで大切にされていること育てて何ですか？

発行日 令和2年2月10日

発行 静岡市立城内中学校PTA

編集 PTA広報委員会

禁無断転載



賞を超えた最高の感動を!



limit ~皆でこえる限界~



第73回 城中祭ステージ部門

令和元年9月13日(金)

於市民文化会館中ホール

